

海域の概要

本湾は、若狭湾の南、小浜市東部に存在する湾です。湾奥には矢代・田鳥・志積など多数の海水浴場があります。湾内ではフグの養殖なども行われています。



Specification

諸元

湾口幅：3.57 km

面積：15.68 km²

湾内最大水深：4.3 m

湾口最大水深：4.3 m

閉鎖度指標：1.11

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

福井県小浜市黒崎と同市小鯉ノ鼻を結ぶ線及び陸岸により囲まれた海域。



環境

水質は良好で、1999年の観測結果によると、pHは8.2～8.3、DOは7.4～9.1mg/l、CODは0.6～1.8mg/lの範囲にあり、環境基準（A類型）に全て適合していました。

底質は、ほぼ全域が砂質となっています。

矢代湾海域水質測定結果

観測年	類型	pH		DO mg/l			COD mg/l			油分 mg/l			DO飽和度(%)		
		最小～最大	0/6	平均	最小～最大	0/6	平均	最小～最大	75%値	平均	最小～最大	0/6	平均	最小～最大	
1998	A (イ)	8.1～8.3	0/6	8.3	7.5～9.3	0/6	1	0.7～1.2	0/6	1.2	ND	ND～ND	0/6	118	108～128
1999	A (イ)	8.2～8.3	0/6	8.3	7.4～9.1	1/6	1.2	0.6～1.8	0/6	1.7	ND	ND～ND	0/6	117	109～130

備考：m / n（環境基準に適合しない検体数 / 総検体数）

自然

矢代湾は、典型的なりアス海岸である若狭湾の中程に位置する湾で、若狭湾国定公園に指定されています。

岸付近の岩礁部には、ガラモ場が分布しています。

広々とした湾内は変化に富み、魚介類が豊富で磯釣りや船釣りに最適で、多くの釣り人が訪れるほか、田島、矢代、志積、犬熊、阿納など、静かな入り江と砂浜を活かした海水浴場が多く、田島からほど近い大浜には「国立若狭湾少年自然の家」があり、カッターや水泳の訓練、アスレチックなどを通して子供たちを伸び伸びと育てる自然教育の場となっています。



フグ養殖筏

文化歴史

古代から日本海を隔てた対岸諸国との交易が開け、昔からシクロードの日本での玄関口として、京都・滋賀・奈良への大陸文化・南蛮文化の伝達の経路となっていました。

産業

国の伝統工芸の指定を受けた若狭メノウ細工、若狭和紙、若狭瓦と、市の指定を受けた若狭塗箸があり、いずれも長い歴史と優れた技術を誇る伝統産業となっています。

また、日本海有数の漁場でもあり、若狭カレイ、若狭フグ、へしこ、ズワイガニ、浜焼き鯖は有名で、古代は「御食国（みけつくに）」、現在は「関西の台所」と呼ばれ、水産業の伝統も長い歴史を持っています。最近では伝統を発展させて小浜の特産品である「小鯛の笹漬け」や、「トラフグ王国」としてトラフグの養殖にも力を入れています。



若狭フグ

近年は、海洋観光地として京阪神からの観光客を集める一方、昔からの農業生産地としての面も保っています。